

50周年記念山行、唐松岳～白馬岳

山城	北アルプス
日程	2016年8月27日(金)～29日(月)
コース	1日目　とおみ尾根～唐松頂上小屋泊 2日目　唐松頂上小屋～唐松岳～不帰キレット～鑓ヶ岳～白馬山荘泊 3日目　白馬山荘～大雪溪～猿倉
天候	1日目　雨　2日目　晴れ後風雨　3日目　強風雨後曇り
参加者	萱野（香）、杉山、宮城、SL平野、L澤田（淳）

1日目（萱野香 記）

8/26(金)： 千葉駅北口（20：30）平野宅-宮城宅（21：30）関越道経由 道の駅ぽかぽかランド美麻（14：00）

8/27（土）： 起床（5：30）白馬五竜エスカルプラザ登山者用駐車場（7：00）五竜テレキャビン（7：30）とおみ駅 - アルプス平駅（8：00）大遠見（10：30）白岳（13：10）唐松岳頂上山荘（16：20）

この週末の山行は台風11号の影響がどこまで及んでくるかにかかっていた。千葉から出発してしばらくは曇り模様。どうせ途中から雨が降ることは分かっている。案の定、途中から雨が降り始め徐々に雨脚は強まる。途中寄ったコンビニで偶然に別ルート（白馬・朝日岳）パーティの2人にばったり会い、お互いの健闘を祈りつつお別れする。少しだけラッキーな事に本日の宿泊地に到着する頃には雨脚も若干弱まり屋根のある場所へ仮眠テントも張れた。とりあえず、お酒を飲んで明日の予定を相談しつつ床に就く。

6：00 起床。小雨模様。天気は良くないが歩けないほど悪くもない。とりあえず今日は我慢をして歩くしかない。支度をして7：00前には道の駅を出発してエスカルプラザ（登山者用の駐車場）へ向かう。こんな天気だけれど、我々以外にもちらほら登山者はいた。ゴンドラの始発が7：30との事でそれに合わせての行動開始となった。

8：00 アルプス平駅から歩き始める。遠見尾根ってきつと本当は、見晴らしの良い尾根なのだろうけれど歩けど歩けども周りがモヤモヤすぎて何も見えない。癒し風景が全くない。途中途中で360度見晴らし抜群的な看板が出てくる。もう嫌味にしか思えない。きつとあの方向に鹿島槍ヶ岳とか五竜岳とか見えるはず…なんだよね。と言葉が漏れる。五竜岳帰りのいくつかの登山者軍団とすれ違う。みんな「気を付けてね。」とか「この時間から五竜ですか？」とか「今日はどちらへ？」とか声を掛けてくれる。遠見尾根から登

って五竜岳に登らないで唐松岳へ。ちょっと驚かれる。唐松岳だったら八方尾根を登ればよいのだから。私達に 50 周年のミッションがある事なんて普通の登山者は知る由もない。

やはり、全部が登りはきつい。そろそろ小屋に着きたいというメンバーのはやる気持ちから幻の小屋を何度も見てしまう。この鎖場を過ぎたら小屋かも！？と幻を何度見たことか。もう不帰のキレットに来てしまったのではないくらい、思いの外、鎖場が続いた。もう十分と思った頃に小屋へ到着！予定より少し遅いタイムであったけれど、結果オーライである。翌日の核心部の不帰キレット、頑張ろう！と更に団結するメンバーであった。



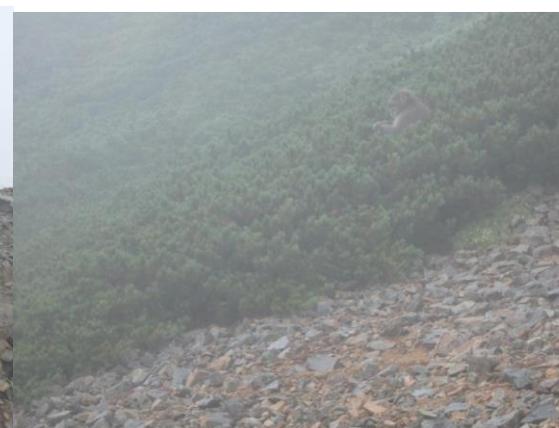
いざ出発！



この先、細尾根続く危険。



白岳（しらたけ）



這松の中でボックリを貪るサル。



雨で濡れた鎖場の連続。



やっと到着！

二日目

【タイム】 4 : 43 唐松岳頂上山荘～5 : 03 唐松岳山頂～5 : 40 朝食～6 : 10 II 峰南峰～7 : 30 I 峰の頭～9 : 15 天狗の頂上～10 : 20 天狗の頭～10 : 45 天狗山荘～11 : 40 分岐～12 : 25 白馬鑓ヶ岳～14 : 55 白馬山荘

瞬く星空の中、小屋主らしき男性に見送られてヘッドランプ装着の一行は暗い中を出発します。

頂上山荘の名前通り、すぐに唐松岳山頂へ到着。

着用奨励山域に入るので、ここからはヘルメットを被ります。

不帰の嶮、III峰手前のコルでの朝ご飯は、劔・立山連峰を堪能しながらでお弁当が一段と美味しく感じます。

「やっぱり稜線歩きの醍醐味は景色だよ～」

悪天候で昨日の視界がゼロだった為、キョロキョロしながら歩く様
は、まるでお上りさん。

良いお天気になりそうな予感





雲海からの素敵な日の出

雷鳥に遭遇した後はⅢ峰・Ⅱ峰の南峰と順調に歩いて、いよいよ本日の核心部・Ⅱ峰の北峰です。

鎖のある急勾配を下り、片側が切れ落ちたトラバースをすると再び急な下りです。気を抜く場面はありませんが、昨日の雨の牛首に比べると恐怖感は少なめ。



乾いた岩って、素晴らしい♡

不帰の嶮の看板を見たら、降りる数段のハシゴ、下って空中に横たわるハシゴ、その後も鎖の下りが連続です。

そしてI峰の頭、最低のコルと進むと、天狗の大下りを登ります。

ガレつつ染み出しのある鎖場を無事に通過して、天狗の頭へ向かっていると左前方に富山湾が見えます。

「日本海だ！！」

50周年記念山行のクライマックスを実感、気分が盛り上がります。

天狗山荘のテラスで昼食後は、急に霧が発生してきます。

天気が崩れる前に小屋へ到着したいねと急いで歩き出した我々は、

疲労もあって目の前の山を白馬岳と勘違い。(希望的な妄想ですね)



すぐに白馬三山の鑓ヶ岳と判明しますが、次の杓子岳を巻いても、なかなか終わりが見えてきません。

最後は台風の影響なのか、雨と大変な強風に。

やっと辿り着いた山荘は、とても大きく立派です。

乾燥室にて濡れた服を干したら、カフェでティータイム。

夕食後、少しの間だけ晴れて夕日を眺める事が出来たのは、
頑張った御褒美だったのかもしれない。

こうして二日目の長い一日が終了したのでした。

オダマキ



名前不明だけど
一番人気



三日目

8月29日起床4；50朝食5；30白馬山荘出発6；30村営宿舎6：50白馬尻小屋9；
26猿倉10；40遠見駐車場11；20十郎の湯11；28レストランもも13；2千葉
18；00

予報では午前は晴れだったので白馬岳山頂登頂を朝食前にとの昨夜の計画だったが外は猛烈な風と雨でミッションはクリアしたから無事下山することが大事と沢田リーダーの指揮で下山開始。15名程の団体も固まって動けないでいるのをじわじわとおいこして大雪渓入口までくだったら風は弱まりほっとした。雪渓はあちこちで崩壊していて針ノ木雪渓と同じでほとんど巻道でアイゼン装着時間のほうが雪渓を歩いた時間より長かった。白馬尻小屋の方から登山道の様子をきかれた。天狗の巻道の下にまぎらわしい道があることをや猿の軍団にあったとはなした。露天風呂付きの十郎の湯にはいり女子会登山にふさわしいランチタイムと道の駅お買い物を楽しみ帰宅した。 杉山喜代枝記